

# 文化芸術立国中期プラン(概要)

～2020年に、日本が「世界の文化芸術の交流のハブ」となる～

〔現在〕 「世界に誇る我が国の文化力」を保有

〔例:各地で行われる芸術祭, 祭り・郷土芸能, 神社・寺院  
古民家, 創造都市, 美術館・博物館・劇場〕

我が国の強み  
=「国力」

〔2020年までの期間〕 「国力」である文化力の強化期間

2020年までに、日本各地の文化力の顕在化、  
基盤の計画的な強化

掘り起こし+育てる+発信

＜ 人をつくる ＞  
(施策例)



福島市の小学校で

- ・ 子供の文化芸術体験の充実
- ・ ファシリテーターの育成  
(芸術をかみ砕いて、楽しく解説する人材)
- ・ 伝統芸能・伝統工芸後継者育成
- ・ 新進芸術家の海外研修
- ・ 学校での体験型ワークショップ充実
- ・ トップレベルの芸術活動への支援
- ・ 芸術系大学の実践的カリキュラム開発

＜ 地域を元気にする ＞  
(施策例)



◎第31回ヨコハマカ  
ーニバル

- ・ 文化財の保存修理・防災対策抜本強化  
(建造物根本修理適正周期の150年を目指す)
- ・ 総合的管理方針を持つ史跡, 名勝  
(現在400件→800件へ)
- ・ 歴史文化基本構想策定自治体数  
(現在20地域→100地域へ)
- ・ 創造都市ネットワーク加盟自治体数  
(現在32→170へ)
- ・ 寄附文化の醸成

＜ 世界の文化交流のハブとなる ＞  
(施策例)



米国で雅楽のワー  
クショップ

- ・ 「伝統+ポップカルチャー」で発信強化
- ・ 海外発信サイトの充実  
(訪問回数100万回→200万回へ)
- ・ 衣食住の海外発信を強化
- ・ メディア芸術祭の強化
- ・ ジャパン・ウィークを通じた発信
- ・ 世界創造都市サミットの開催
- ・ 東アジア文化交流使構想実現
- ・ 東アジア文化都市での交流事業

施設・組織、  
制度の整備

強固な文化力の  
基盤形成

2020年

『文化の国』

世界に尊敬され、愛される

全国の自治体、芸術家等  
とともに、文化イベント

日本津々浦々で、  
文化での発信/人の往来

